

安全性データシート

改定日: 2021年1月22日

発行日: 2008年2月11日

SDS番号: 111B-18a

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

752 コールド・ガルバナイズング・コンパウンド (バルク)

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

鉄、鋼鉄、およびその溶接部用に配合された亜鉛の豊富なプライマーおよびコーティング。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

株式会社 明治屋

神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地

TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731

Eメール: [contact-ches@meidi-ya.com](mailto:contact-ches@meidi-ya.com)

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

引火性液体, 区分 3, H226

皮膚の炎症, 区分 2, H315

眼刺激, 区分 2, H319

特定標的臓器毒性 (反復ばく露), 区分 2, H373 (中枢神経系, 肝臓, 腎臓)

水生環境有害性, 急性, 区分 1, H400

水生環境有害性, 慢性, 区分 1, H410

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

警告

<b>危険有害性情報:</b>	H226 H315 H319 H373 H410	引火性の液体および蒸気。 皮膚刺激。 強い眼刺激。 長期または反復暴露により中枢神経系、肝臓、腎臓に障害のおそれ。 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
<b>使用上の注意:</b>	P210 P240 P260 P264 P273 P280 P302/352 P305/351/338  P337/313 P314 P370/378 P391 P403/235 P501	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を接地しアースを取ること。 蒸気を吸入しないこと。 取扱後は皮膚よく洗うこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。 火災の場合：消火にはCO2、化学用粉末、泡、のいずれかを使用してください。 漏出物を回収すること。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。
<b>補足情報:</b>	なし	

**2.3. その他の危険性**

既知の影響なし

**セクション 3: 組成、成分情報**

**3.2. 混合物**

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS/CLP分類
亜鉛	70-80	7440-66-6	急性水生毒性 1, H400 水生慢性 1, H410 (Mファクター: 1)
キシレン	10-15	1330-20-7	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 急性毒性 4, H332/H312 皮膚刺激性 2, H315 眼刺激性 2, H319 STOT 単回暴露 3, H335 STOT 反復暴露 2, H373 (中枢神経系, 肝臓, 腎臓)
エチルベンゼン	1-3	100-41-4	引火性液体 2, H225 吸引性呼吸器有害性 1, H304 急性毒性 4, H332 STOT 反復暴露 2, H373 (聴力)

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

<sup>1</sup>分類基準: \* 労働安全衛生法  
\* 毒物および劇物取締法  
\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

**セクション 4: 応急処置****4.1. 応急処置情報**

- 吸入:** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着:** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合:** 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合:** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護:** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。蒸気を吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

**4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)**

皮膚刺激。目に入ると刺激を与えます。蒸気を大量に吸込むと、目や呼吸器系の炎症、めまい、頭痛など中枢神経の異常を起こします。長期にわたる暴露、度重なる暴露は、中枢神経系、肝臓、腎臓、聴力に損傷を与えることがあります。

**4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候**

症状の手当てをしてください。2 ml/kg体重以上が摂取された後嘔吐が起こらない場合は、医師の指導のもとで吐かせてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品 あるいは 発泡

**不適切消火剤:** 製品には水を使わないでください。

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

水に接触すると超引火性のガスを放出します。熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙を発生することがあります。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

通気のよい場所でのみ使用してください。使用時以外は容器の蓋を閉めてください。容器を接地しアースを取ること。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

涼しい換気の良い場所に保管してください。容器が湿気に触れないようにしてください。発火源に近づけないでください。禁煙。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
亜鉛	(吸引可能)	2	(吸引可能)	10
	(総塵)	8	(吸引可能)	3
キシレン	50	217	100	434
			STEL: 150	STEL: 651
エチルベンゼン	20	N/A	20	N/A

**生物学的限界値**

キシレン:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	準拠	注
メチル馬尿酸	尿	作業終了時	1.5 g/g クレアチニン	ACGIH	-

エチルベンゼン:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	準拠	注
マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の和	尿	作業終了時	0.15 g/g クレアチニン	ACGIH	非特異的

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

防爆性装置で十分換気し、蒸気濃度を許容限界以下に維持してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください(例: 欧州規格フィルタータイプ A/P)。密閉された場所や、換気の悪い場所、大量漏油の場所では空気呼吸器を使用する。

**手袋:** 耐薬品性手袋(例: Viton\*、ネオプレン、ニトリル)\*DuPont 社の登録商標。

キシレン, エチルベンゼン:

皮膚付着タイプ	手袋の材質	手袋の層厚	破過時間*
全面	Viton	0.7 mm	> 480 分
しぶき	ニトリルゴム	0.4 mm	エチルベンゼン: > 10 分 キシレン: > 30 分

\*EN374基準により決定。

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** 繰返しあるいは長時間にわたる皮膚への付着を防ぐ不浸透性の衣服。

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

**セクション 9: 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	粘性のある液体	臭気	溶媒臭
色	グレー	においの閾値	未定
初留点	99° C	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	14.2%
揮発率%(容量比)	48.1	pH	適応せず
引火点	26° C	相対密度	2.88 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	<1
粘度	3800-4800 cps	蒸気密度(空気=1)	>1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	<1
分解温度	未定	水溶性	ごくわずか
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	0.7 LEL(爆発下限); 22.7 UEL(爆発上限)	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

**9.2. その他の情報**

なし

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

**10.5. 配合禁忌薬品**

アルカリ金属 および 液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙を発生することがあります。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

**通常使用時の主な接触経路:** 吸引、皮膚や目への付着。目、皮膚、呼吸器系に既往疾患のある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

**急性毒性 -**

**経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物: 20,636 mg/kg.

物質	テスト	結果
亜鉛	致死量50(LD50) 経口 ラット	> 2000 mg/kg
キシレン	致死量50(LD50), ラット	2840 mg/kg
エチルベンゼン	致死量50(LD50), ラット	3500 mg/kg

**経皮:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物: 9,259 mg/kg.

物質	テスト	結果
キシレン	致死濃度50(LC50), うさぎ	> 4350 mg/kg
キシレン	cATpE	1100 mg/kg
エチルベンゼン	致死濃度50(LC50), うさぎ	15,354 mg/kg

**吸入:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物: 82.31 mg/l (蒸気)。蒸気を大量に吸込むと、目や呼吸器系の炎症、めまい、頭痛など中枢神経の異常を起こします。

物質	テスト	結果
キシレン	致死濃度50(LC50) 吸引, ラット	5000 ppm, 4 時間
キシレン	最小致死濃度, 人	10,000 ppm, 6 時間
キシレン	cATpE	11 mg/l
エチルベンゼン	致死濃度50(LC50) 吸引, ラット	17.2 mg/l, 4 時間

**皮膚腐食性/刺激性:** 皮膚刺激。

**眼に対する重篤な損傷性/  
眼刺激性:** 目に入ると刺激を与えます。

**呼吸器または皮膚の感作:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**胚細胞突然変異原性:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**がん原性:** 国際がん研究機関(IARC) はエチルベンゼンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。

**生殖毒性:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 単回暴露:	有害を起こさないとされています。
STOT - 反復暴露:	あらゆる溶剤は業務上繰返しあるいは長時間過度に晒されると、脳神経系の障害を起こすことが報告されています。キシレン蒸気に晒された実験動物は胎児毒性、難聴、肝臓や腎臓障害を発症しました。
吸引性呼吸器有害性:	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
その他の情報:	既知の影響なし

**セクション 12: 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

水生生物にたいへん有毒で、水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります。

**12.2. 持続性・分解性**

溶剤: 生分解は大気環境で数日から数週間以内に起こります; 生分解性

**12.3. 生物蓄積の可能性**

実験的BCF値によると、キシレンとエチルベンゼンの水生生物内生物濃縮の可能性は高くありません。亜鉛の生体内蓄積は水生環境中で重要かもしれません。

**12.4. 土壌中の移動性**

液体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。溶剤(キシレン, エチルベンゼン): 環境中に放出されると急激に大気内に蒸発します; 土壌内の移動性は中程度から高程度と考えられています。亜鉛: 土壌内の移動性が低いとされています。

**12.5. PBT・vPvB評価の結果**

入手不可

**12.6. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13: 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。未使用の製品は焼却あるいは燃料融和するよう規定されています。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

**セクション 14: 輸送上の注意****14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1263

**14.2. UN固有輸送名**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: PAINT

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 3

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

**14.5. 環境への危険性**

MARINE POLLUTANT

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

使用に関する特別な注意はなし

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

IMDG: EmS. F-E, S-E

ADR: Classification code F1 , Tunnel restriction code (D/E)

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品:	クラスII薬品:
	キシレン, エチルベンゼン	なし
<b>その他の国内規制:</b>	大気汚染防止法 有害大気汚染物質: 亜鉛, キシレン, エチルベンゼン 水質汚濁防止法 指定物質: 亜鉛, キシレン 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 優先評価化学物質: キシレン, エチルベンゼン 旧第二種監視化学物質: エチルベンゼン 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: キシレン, エチルベンゼン 危険物(引火性の物): キシレン 第二種有機溶剤等: キシレン 第二類物質: エチルベンゼン 作業環境評価基準で定める管理濃度: キシレン, 50 ppm; エチルベンゼン, 20 ppm 毒物及び劇物取締法 劇物: キシレン	



**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH:米国産業衛生専門家会議  
ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
ATE:急性毒性推定値  
BCF: 生物濃縮係数  
cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
GHS:世界調和システム  
ICAO:国際民間航空機関  
IMDG:国際海上危険物規定  
LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
LOEL:最小作用量  
NOEC:最大無作用濃度  
NOEL:最大無作用量  
N/A:該当せず  
PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
PEL:許容暴露限度  
REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
SDS:安全性データシート  
STEL:短時間暴露許容濃度  
STOT: 特定標的臓器毒性  
TLV:暴露限界  
vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
その他の略語は[www.wikipedia.org](http://www.wikipedia.org)で調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)  
欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報  
スウェーデン化学物質庁 (KEMI)  
米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)  
化学分類および情報データベース (CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
引火性液体 3, H226	テストデータに基づく
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
STOT 反復暴露 2, H373	算出方法
急性水生毒性 1, H400	算出方法
水生慢性 1, H410	算出方法

**関連するH(危険)-ステートメント:**

H225: 引火性の高い液体および蒸気。  
H226: 引火性の液体および蒸気。  
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
H312: 皮膚に接触すると有害。  
H315: 皮膚刺激。  
H319: 強い眼刺激。  
H332: 吸入すると有害。  
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。  
H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。  
H400: 水生生物に強い毒性。  
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

**その他の情報:** なし

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 1.3, 3, 8.1, 8.2.2, 11, 12.4, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。